拈木函大恩利益

へ13
2946
61

61
へ13 特 2969
へ13 特 2946 61

とそたてく利ハあれりのこ扨りのごとく雪の
ごとく見て。二朱銀白き紙四つ入の仏へ欲ぞ
ゆ入れ。二二が四昏。一五が五経ハ。九くの数ハ
八帖珠数屋町ハ。こゝ梅川が親里であることゝ
りのこゝ。そのうくうくうく。商人七分文人三分
たやうなる。ある元ハ且那。ゆる時ハ番頭手代丁児小者の役
ハでも。独でつとむる園藏が。十役よりもまるいそがしくしば
戯作うんぞハ棚ゆ。あげて数ゆる処よ。世間ハ多ゆいゆ八ゆ。仙鶴堂
の主人さまゝ。たのゞ。ひけりの成。軍知づてゆんゆゆ。櫃ゆきゆ王で
あり。豈うゞんやとゆつゆ。ゆこゆ紙ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

享和二年壬戌孟春

於洛橋老店

山東京傳戯題

願望帳

慈眼視衆生福聚海
無量是故應頂禮

忠臣水滸傳後編
五冊京傳作
歌れんい堂おう遠
玉枝仕ハ

千日寺
観音
西国巡礼
豊国京作

御やうゝゝ

本拵所

座

願望帳

豊国画

京傳戯作